

まいと慣れ赴まに  
すま共れま任し豊  
。すに、すぐたか  
。成美が、がで  
ど長し、家、素  
うしい早族そ晴奈と奈業②  
ぞて自くののら留の留高こ  
よい然ここ通しはあ高校ん  
ろきのちとりい自る校かに  
した中らがで島然先にらち  
くい素の心しと、生勤参は  
おと直生配た聞人方務り  
願思な活で。い情かしま説  
いつ生には單てとらたし早  
して徒もあ身きも、この商



高校時代は長崎港を船で横断して通学していました。海や船にはない島で、以前五島に勤務したこともあります。また、以前五島の故郷のようを感じて、地域で育つ力がますます尽つくすことを願っています。





転入者紹介

②名前（教科）  
あいさつ

## 新しく奈留高校 に転入された先生方



# ☆軟式野球部☆

## 第39回九州地区高等学校軟式野球長崎大会



奈留高校へ  
へ学式では、  
な拍手では迎  
は、それぞ  
よくが返事  
溢れた面持  
先生の先導  
は、それぞ  
よくが返事  
をした後、  
夏井さん  
を読表新  
誓を代表  
入生が新  
しみした。  
上代表は、  
は、それぞ  
よくが返事  
をした後、  
夏井さん  
を読表新  
誓を代表  
入生が新  
しみした。  
は、それぞ  
よくが返事  
をした後、  
夏井さん  
を読表新  
誓を代表  
入生が新  
しみした。



「、部活動、  
いえ、さるの出  
でいます。」  
島の大好きな挑戦」  
をモットー」

愛唱歌  
♪ 瞳を閉じて ♪  
齊唱



奈留高校  
学校だより  
第77号

# 鍛錬坂



小中高合同歓迎遠足



四月九日（月）新入生意を胸に、校門をくぐつた。新入生一八名が奈留高校へ入校しました。入学式では、在校生から盛大な拍手で迎えられ、希望に溢れた面持ちで担任の濱砂先生の先導で入場しました。入学許可宣言では、それぞれが元気よく返事を

太君が堂々たる態度で「今ここにいることを当たり前とは思わず、この環境に感謝しながら高校生活動を送りたい」と述べました。新入生には授業や部活動、学校行事などたくさんのお手伝いがあります。

森総合公園を目指しました。小中高の一年生を拍手で迎えた後は、お楽しみのレクレーションで盛り上がりしました。今年度は高校生が中心となつた

た。高校生が本気になる  
と、小学生、中学生も心  
から楽しむことができる、  
と実感できたのではない  
でしょうか。生徒会長の  
挨拶にあつた「小中学生  
のあこがれとなる高校生」  
を目指し、今後の合同行  
事での活躍を期待してい

# 学年だより

私の大好きな光景の一つに、高校玄関前の渡り廊下から見える小中学校のグランドがあります。ただし、時間限定で昼休みだけです。小学生が、寒い冬も暑い夏の日も、元気に走り回っています。校長の業務に疲れた(?)心を癒すには、最高の風景です。

小中高一貫教育が正式に始まつて、この三月で丸四年が経過しました。体育大会をはじめとする合同行事や教職員ソフトボールチームなど奈留島を代表する存在として島民の皆さんに認知していただいているものと感じています。また肝心の教育活動も様々の取り組みや教職員の交流の深まりとともに、年々充実度を増してきました。



校長室から

小林勝

その成果として、今春の卒業生は素晴らしい進路実績を収められました。詳しい内容は奈留港ターミナルにも掲示させていただいているのですが、奈留高校初めてとなる九州大学、そして長崎大学等の大学、公務員、看護師、一般就職と多くの生徒諸君が、自らの目標とする進路を達成してくれました。まさに「夢・実現」です。

最近、全国の公立学校で「小中連携」「中高連携」が積極的に進められるようになつてきています。ある県では、保育園から大学までの連携を始めたとの記事も目にしました。それぞれの取り組みはたいへん興味深く、参考になります。その反面、奈留地区小中高一貫教育に勝る教育環境はないようにも感じています。小中と高校一校ずつの連携であること、隣り合った敷地にあること、地域の皆様の強い支えがあること、教職員の交流が盛んであることなどその要因

留地区一貫教育は、今後さらに大きく発展していく可能性を秘めています。密な連携と地域力、少人数の三本柱で、全国にも類を見ないような理想的な小中高一貫教育が実践できるという可能性です。

「日本の西の果ての小さな島に、こんなにも素晴らしい『日本の教育』が存在した」そんなテレビのドキュメント番組が制作されても、不思議ではありません。そして、孟母三遷のたとえではあります。しかし、自分の子供に理想の教育を受けさせたいと願う母親が、この奈留島に押し寄せてくる日がやってくるかもしれません。そのための第一歩として、今年から本格的に島外の生徒募集活動を始めることにいたしました。まずは、小さな一步か

ペ奈  
ン留  
リ高  
レ職  
一員

『フルマラソン物語』  
入 口 彰 太



私の趣味はマラソンです。マラソンと出会ったのは七年前です。私が教員になって初めて赴任した高校で、ある先生がおしゃつていた言葉です。「教師が頑張つていないので、生徒たちに頑張れとは言えない。だから自分に試練を与えるためにも、マラソンを走つているんだ。」その言葉を機に今まで一〇回弱レースに出場し、タイムも順調に短縮できています。マラソンという競技は若者が速いといふわけではありません。時間を見つけて日々練習に取り組んできたお年寄りに若者が抜かれるという場合が多くあります。レース中、私は七〇代のおじいさんと併走しましたが、最後になつて差を広げられました。日々の鍛錬がいかに大切か思い知らされました。コツコツと取り組むことが、やがて大きな成果となつて自分に返ります。もちろん、勉強も同じです。日々コツコツと努力してきた者は誰も勝つことは出来ません。進路実現のために一緒に頑張りましょう。Many a

5・6月の主な奈留高校の行事		
5月 9	水	中間考查（～11日）
12	土	土曜学習会②
13	日	PTA・体育文化後援会総会
19	土	就職・看護模試
30	水	高総体壮行式
6月 2	土	長崎県高総体（～4日）
16	土	県一斉模試（2・3年）
19	火	「奈留っこ」心を見つめる週間 （～26日）
28	木	期末考查（～7/3）

PTA・体育文化後援会総会  
開催の方針

※公開授業（一二時一〇分～）が開催されます。  
※保護者向け携帯電話講習会も開催いたします。

二年生に進級し、学習や活動、生活の面で「何かをえなければ」という危機感や前向きなエネルギーを持った生徒が多く見受けられ、頼もしく思つていました。奈留高校の中堅学年としての一年が実り多いものになります。奈留高校の中堅学年として参りますので、ご家庭におかれてもご理解、ご協力をお願いいたします。



いよいよ、「勝負の年」となりました。三年生全員の進路実現を目標に、生徒諸君は、まずは中間考查で好成績を収めるよう、学習面の充実を図つてください。島の最高学年」として、後輩たちの模範となれるよう、一緒に頑張っていきましょう。

